

Nagasaki University  
Collection

長崎大学コレクション

No.7



やげん  
薬研

(年代不詳)

薬が手作業で作られていた頃、漢方の原料となる生薬を砕き、または粉末にするために、この器具が用いられました。「くすりおろし」ともいい、中国で唐時代に発明されたものです。中国名は薬碾やくてん。日本に渡来した時期は不明ですが、茶をひく茶碾が伝わっていた平安時代以降と推測されます。

(長崎大学薬学部お薬の歴史資料館所蔵)

Choho

長崎大学広報誌[チョーホー]

Vol.79

2022年4月1日発行

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/>

